

校章



岩見沢東高等学校 P T A 活動の紹介



○ 学校紹介

本校は大正11年、岩見沢尋常高等小学校として開校後、昭和25年に現在の北海道岩見沢東高等学校となり、令和4年度に創立100周年を迎えた伝統校である。校歌『我がたましいの故郷』の名のとおり、およそ2万人を超える卒業生たちは本校をふるさとと思いい慕い、後輩たちへの支援や協力を行っていただいている。令和7年度より、岩見沢西高等学校と再編統合し、引き続き「北海道岩見沢東高等学校」として新たな歴史を刻もうとしている。

○ 本校のP T A活動

本校のP T Aは、各学年理事（合計57名：1年16名、2年12名、3年19名）の中から、会長1名、副会長11名、監事2名、会計3名を選出するほか、それぞれの理事が広報委員会、進路委員会、生活委員会のいずれかの委員として活動している。単P活動のみならず、支部や全道大会への参加に加え、岩見沢市P T A連合会にも積極的に参加し、地域の小・中学校のP T A役員との交流にも努めている。

① 岩東祭P T A屋台

毎年7月の岩東祭（学校祭）において、P T Aが屋台を出店する。メニューは焼き鳥とかき氷である。コロナ禍がほぼ収束した令和5年度から、元来の取組を復活させた。当日は生徒会がキッチンカーなどを来校させる中、P T A屋台の人気も高く、早々に売り切れになっている。売り上げは、生徒会へ寄附している。



② 交通安全指導

岩東祭の名物は行灯行列である。各クラスが1基ずつ、張り子の行灯を制作し、市内を練り歩く。夕暮れから夜にかけて行進することから、信号や見通しの悪い箇所にP T Aが配置され、岩見沢警察署と連携して交通整理を行っている。生徒の盛り上がるの様子を、地域の皆様にも楽しんでいただくために、安全・安心に努めている。



③ 広報誌の発行

P T A通信「岩東だより」のほか、生徒のいきいきした活動を記録し将来に伝えることを目的とした写真集「GANTO P T A」を発行している。「岩東祭」や体育大会、見学旅行、部活動などの行事の様子を撮影し、編集・発行する。3年生にとっては、卒業アルバムとともに、岩東での3年間を振り返ることができる貴重な一冊である。

